



JALグループ、2017年度 路線便数計画を決定

～羽田=ニューヨーク線を開設、国内線は「クラスJ」装着機材の運航路線を拡大～

2017年1月19日

第16249号

JALグループは、2017年度の路線便数計画を決定しました。

国際線は、羽田空港昼間時間帯の国際線発着枠を活用し、4月1日より羽田=ニューヨーク線を開設します。これにより、国内各地から北米への乗り継ぎ利便性が向上します。また、引き続き成長が見込まれる北米=アジア間の需要の取り込みを強化するため、成田=ニューヨーク線の成田午後発着便を現在のボーイング787-8型機(SS8)からボーイング777-300ER型機(SS7)へ大型化し、ファーストクラスサービスを開始します(*1)。

今年1月よりロシアのビザ発給要件が緩和されたことを受け、今後さらに日本=ロシア間の需要増加が見込まれるため、成田=モスクワ線を増便し、7～10月は毎日運航とします。当社は、この4月に東京=モスクワ線就航50周年を迎え、今後も二国間の交流促進に努めてまいります。

需要が非常に旺盛なハワイ路線については、高需要期に成田=ホノルル線を1日最大5便、関西=ホノルル線を1日最大2便に増便します。また、年末年始に実施したホノルル線のファーストクラスサービスが大変好評であったことから、夏の高需要期にも成田発着路線においてファーストクラスを設定し、お客様のニーズにお応えします。

国内線は、対象機材全機(*2)において対応が完了した「JAL SKY NEXT」サービス(*3)による商品・サービスの品質強化を引き続き行うとともに、羽田発着路線を中心として、季節需要に適合した運航を行います。また、伊丹発着路線を中心に、「クラスJ」およびWi-Fi無料ビデオプログラムサービス(*4)を備えたエンブラエルE190型機での運航路線拡大を図り、鹿児島県内の離島路線には、4月下旬より順次、新機材ATR42-600型機を投入します。那覇発着路線では、ボーイング737-800型機の運航路線拡大により、「JAL SKY NEXT」サービスを拡充します。沖縄県内を中心とする離島路線では、ボンバルディアDHC-8-400CC型機を順次展開し、旅客、貨物双方の需要に対応します。

その他路線では、2014年度から実施している季節運航路線を、就航地域の皆さまのご協力を得ながら、2016年度と同規模にて運航します。また、プロペラ機材からリージョナルジェット機材への移管を進め、提供座席数の増加などにより観光需要の喚起を図り、地域経済の活性化を後押しします。

JALグループは引き続き、お客様の利便性、快適性の向上を目指し、さらなるネットワークの拡充、商品・サービス品質の向上にチャレンジしてまいります。

※2017年度路線便数計画とスケジュールは関係当局への申請と認可を前提としております。

(*1)「SS」は「SKY SUITE」機材。詳細については、<https://www.jal.co.jp/newsky/>をご参照ください。

(*2) 777-300型機、777-200型機、767-300型機、737-800型機(日本トランスオーシャン航空の機材は除く)。

(*3)「JAL SKY NEXT」サービスの詳細については、<http://www.jal.co.jp/skynext/>をご参照ください。

(*4) 詳細は、<http://press.jal.co.jp/ja/release/201604/002641.html>をご参照ください。

国際線

【羽田=ニューヨーク線の開設】

羽田午前出発、夕方帰着のダイヤで運航することで、国内27空港から双方向の同日乗り継ぎが可能となります。

路線	期間	変更内容(往復)	機材	便名/発着時刻 (*5)
羽田=ニューヨーク	2017年 4月1日～	週間0便→7便	777-300ER (SS7)	JL006 羽田発10:40-ニューヨーク着10:35 JL005 ニューヨーク発13:10-羽田着16:25(翌日)

(*5) 5～8月は、JL006便は10分遅着、JL005便は15分遅発。

【成田=ニューヨーク線の機材大型化および減便】

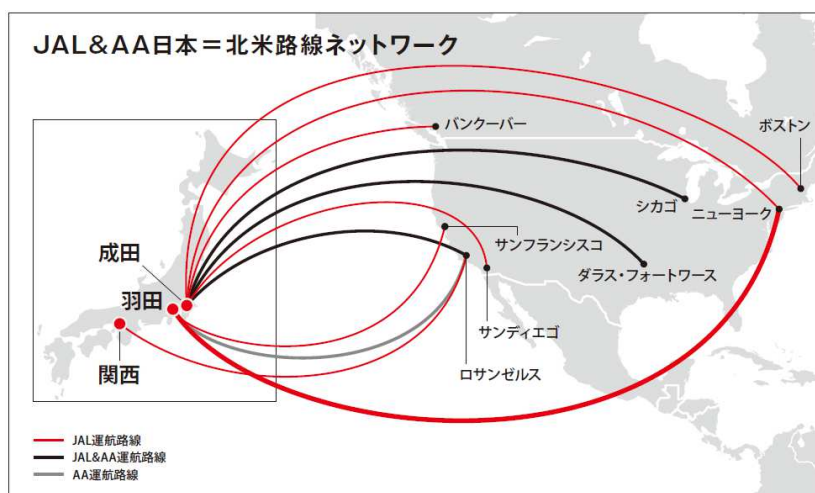
羽田=ニューヨーク線の開設に伴い、成田=ニューヨーク線は週間14便から7便へと減便します。成田午後発着で運航を継続するJL004/003便は、旺盛な北米=アジア間需要のさらなる取り込みを目的に、運航機材をボーイング787-8型機(SS8)からボーイング777-300ER型機(SS7)へ変更(*6)し、各クラスの座席数を大幅に増やします。また、新たにファーストクラスサービスを開始し、お客さまの多様なニーズにお応えします。

路線	期間	変更内容(往復)	機材	運航ダイヤ (*7)
成田=ニューヨーク	2017年 4月1日～	週間14便→7便	777-300ER (SS7)	JL004 成田発18:25-ニューヨーク着18:20 JL003 ニューヨーク発11:30-成田着14:40(翌日)

(*6) JL004便は3月26日より、JL003便は3月27日より、機材を787-8型機(SS8)から777-300ER型機(SS7)へ変更。

(*7) 5～8月は、JL004便は10分早発、JL003便は10分遅発。

《日本=北米ネットワーク図》



【需要増に対応した増便】

ロシアのビザ発給要件緩和にとともない、成田=モスクワ線を6月までは週間5便、7月以降は週間7便に増便します(冬期ダイヤは週間4便)。また、4月1日より羽田=ホノルル線を成田発着へ変更し、成田=ホノルル線を1日4便運航とします。高需要期にはさらに1便増便することにより、1日最大5便運航となります。関西=ホノルル線も、ゴールデンウィーク、および夏期の旺盛な需要にお応えするため、1便増便し、1日最大2便を運航し、利便性のさらなる向上を図ります(*8)。

(*8) 発着時刻は以下のとおり。

《成田=ホノルル線》

JL780 成田-ホノルル 出発時刻 20:45 到着時刻 08:50 (4月27日～5月7日は、21:00発/09:05着、6～9月は09:15着)

JL789 ホノルル-成田 出発時刻 14:50 (6～9月は15:20発) 到着時刻 18:30(翌日)

JL8782 成田-ホノルル 出発時刻 19:00 (6～9月は19:15発) 到着時刻 07:20 (6～9月は07:55着)

JL8781 ホノルル-成田 出発時刻 09:20 (6～9月は09:45発) 到着時刻 13:05(翌日)

《関西=ホノルル線》

JL8792 関西-ホノルル 出発時刻 19:05 (7～9月は18:20発、10月は18:40発) 到着時刻 07:50 (7～10月は07:25着)

JL8791 ホノルル-関西 出発時刻 10:25 (7～9月は10:20発) 到着時刻 14:45(翌日) (7～9月は14:10着)

路線	便名	期間	機材	変更内容(往復)	備考
成田=モスクワ	JL421/422	2017年3月26日 ～6月30日	787-8 (SS8)	週間3便→5便	月水金土日運航
		2017年7月1日 ～10月28日		週間5便→7便	毎日運航
		2017年10月29日～		週間7便→4便	月水金日運航
成田=ホノルル	JL780/789	2017年4月1日～	777-200ER	週間21便→28便(#)	一部、(SS2)にて運航
	JL8782/8781	2017年4月26日 ～9月14日	787-8 (SS8)	週間28便→35便(#)	毎日運航
		2017年9月30日 ～10月27日	787-8 (SS8)	週間28便→29便(#)	土曜日運航 (ホノルル発は金曜日)
関西=ホノルル	JL8792/8791	2017年4月27日 ～5月7日	787-8	週間7便→14便(#)	毎日運航
		2017年7月13日 ～8月26日	787-8 (SS8)		
		2017年9月30日 ～10月27日	787-8 (SS8)	週間7便→13便(#)	土曜日以外運航 (ホノルル発は、金曜日以外)

(#)成田=ホノルル線または関西=ホノルル線全体の運航頻度

【主な機材変更】

夏期欧州の旺盛な需要に対応するため、成田=ヘルシンキ線をボーイング787-8型機(SS8)からボーイング787-9型機(SS9)へ大型化します。また、8月4日～15日の成田=ホノルル線(JL780/789便)へSKY SUITE仕様の777-300ER型機(SS7)を投入し、ファーストクラスサービスを設定します。その他、成田=シドニー線、ジャカルタ線、デリー線の機材を変更することで需給適合を図り、収益性のさらなる向上を目指します。

路線	期間	便名	変更内容(往復)	備考
成田=ヘルシンキ	2017年3月26日～	JL413/414	787-8(SS8) → 787-9(SS9)	
成田=ホノルル	2017年8月4日～15日	JL780/789	777-200ER → 777-300ER(SS7)	(*9)
成田=シドニー	2017年3月26日(*12)～	JL771/772	777-300ER(SS7) → 787-9(SS9)	(*10)
成田=ジャカルタ	2017年3月26日(*13)～	JL725/726	777-300ER(SS7) → 787-9(SS9)	(*10)
		JL729/720	787-8(SS8) → 767-300ER(SS6)	(*11)
成田=デリー	2017年3月26日～10月28日	JL749/740	787-9(SS9) → 787-8(SS8)	
羽田=広州	2017年3月27日～	JL087/088	767-300ER(SS6) → 787-8(SS8)	
成田=上海(浦東)	2017年3月26日(*14)～	JL873/876	→	
		JL879/872	→	787-8
羽田=北京	2017年8月1日(*15)～	JL025/020	787-8 → 767-300ER	
成田=北京	2017年3月26日～5月31日 (*16)	JL869/860	737-800 → 767-300ER	
羽田=台北(松山)	2017年8月2日～	JL097/098	767-300ER → 787-8	

(*9)ファーストクラスサービスを設定。(*10)ファーストクラスサービスを休止。(*11)プレミアムエコノミーサービスを休
(*12) JL772便は3月27日から変更。(*13) JL720便は3月27日から変更。(*14) JL872便は3月27日から変更。
(*15) JL020便は8月2日から変更。(*16) JL860便は3月27日から6月1日まで変更。3月26日のJL860便は787-8運航。

【運休】

路線	便名	期間	変更内容(往復)
羽田=ホノルル	JL080/JL089	2017年 4月1日～	週間7便→0便 羽田発着から成田発着に変更しJL780/789便として運航を継続。

国内線

【季節運航(継続)】

路線	運航期間	便数(往復)	備考
伊丹=松本	2017年8月1日～8月31日	1日 1便	
伊丹=女満別	2017年7月22日～8月29日	1日 1便	
新千歳=出雲	2017年8月1日～8月31日	週間 4便	月・水・金・日運航
新千歳=徳島	2017年8月1日～8月31日	週間 3便	火・木・土運航
中部=釧路	2017年8月1日～8月31日	週間 3便	火・木・土運航
中部=帯広	2017年8月1日～8月31日	週間 4便	月・水・金・日運航

【増便】

路線	変更期間	変更内容(往復)	備考
羽田=青森	2017年5月11日～7月4日	1日 6便→8便	
伊丹=青森	2017年5月11日～7月4日	1日 3便→4便	
丘珠=利尻	2017年5月11日～7月4日	1日 1便→2便	土・日・月運航 (*17)
丘珠=函館	2017年5月11日～7月4日	1日 6便→7便	火・水・木・金運航 (*17)
伊丹=新千歳	2017年7月1日～10月9日	1日 4便→5便	7月15日～8月31日は 5便⇒6便(夏期臨時増便)
岡山=那覇	2017年4月19日～5月26日	1日 1便→2便	期間中の計27日間 (*17)
鹿児島=屋久島	2017年4月15日～4月30日	1日 3便→4便	
	2017年5月1日～7月31日	1日 4便→5便	
	2017年8月1日～10月28日	1日 5便→6便	
鹿児島=沖永良部	2017年4月15日～10月28日	1日 2便→3便	

(*17) 一部、運航便数が異なる期間がございます。詳細につきましては、JAL時刻表またはJALホームページをご確認ください。

【減便】

路線	変更期間	変更内容(往復)	備考
羽田=新千歳	2017年3月26日～5月10日 2017年7月5日～10月28日	1日 17便→16便	
羽田=三沢	2017年5月11日～7月4日	1日 3便→0便	(*18)
伊丹=三沢	2017年5月11日～7月4日	1日 1便→0便	(*18)
丘珠=三沢	2017年5月11日～7月4日	1日 1便→0便	(*18)
伊丹=福岡	2017年7月1日～10月9日	1日 4便→3便	

(*18) 三沢空港の滑走路工事に伴う一時的な運休

【主な機材変更】

■エンブラエル170型機→エンブラエル190型機

路線	期間
羽田=南紀白浜	2017年8月より順次
羽田=宮崎	2017年8月～
伊丹=秋田	2017年7月1日～10月9日
伊丹=新潟	2017年6月より順次
伊丹=宮崎	2017年5月より順次
新潟=新千歳	2017年6月より順次

■ボーイング737-400型機→ボーイング737-800型機

路線	期間
羽田=石垣	2017年7月15日～8月31日

■ボンバルディアDHC-8-400型機→エンブラエル170型機

路線	期間
福岡=松山	2017年5月～
福岡=奄美大島	2017年8月～
鹿児島=奄美大島	2017年8月より順次

■SAAB340B型機・ボンバルディアDHC-8-400型機→
ATR42-600型機

路線	期間
鹿児島=屋久島	2017年4月より順次
鹿児島=奄美大島	2017年5月～7月
鹿児島=沖永良部	2017年4月より順次

以上